

開催月日 : 平成 28年 3月 22日

平成27年度第4回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

時間	am (pm) 6:30 ~ am (pm) 7:30	場所	千代田区役所4階 401会議室
司会	●●●●	書記	尾崎 正紀
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係 : ●●●●様、●●●●様、●●●●様		
	○千代田区社会福祉協議会 : ●●●●●様		
	○千代田区高齢者あんしんセンター : 高橋誠様(神田地区)、●●●●様(麴町地区)		
	○医療機関 : 在宅療養支援診療所 ●●●●様(千代田区医師会)、●●●●●様(九段坂病院) ●●●●●様(三楽病院)		
	○訪問看護 : ●●●●様(九段訪問看護ステーション・連携)		
	○知見を有する者 : 松村正巳様、澁谷直子様、●●●●様、●●●●様、●●●●様		
	○指定事業者		
	グッドライフケア24 : ●●●●●、●●●●●、●●●●●、●●●●●、●●●●●、●●●●●		
	かんだ連雀いつでもサポートサービス : 峯俊美、浅見達也、高山明子、尾崎正紀		
	会議内容	① 開会の挨拶 グッドライフケア24 代表 : ●●●●●	
② 定期巡回・随時対応型サービス自己評価表発表 かんだ連雀いつでもサポートサービス : 浅見達也 グッドライフケア24 計画作成責任者 : ●●●●●			
③ ご出席者皆様よりご意見・講評			
④ 閉会の挨拶 グッドライフケア24代表 : ●●●●● かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者 : 峯俊美			
② 定期巡回・随時対応型サービス自己評価表発表			
●かんだ連雀いつでもサポートサービス (詳細は別紙①参照)			
●グッドライフケア24 (詳細は別紙②参照)			
詳細	・ 25項目を実施状況(評価点数)「できている」…4点 「ほぼできている」…3点 「できていないことがある」…2点 「できていないことが多い」…1点で自己評価し、合計100点となるよう総合評価した。それぞれに「出来ている点」「出来ていない点」の詳細コメントを記載した。		
	○グッドライフケア24 平成27年12月運営評価結果報告(詳細は別紙③参照)		
	○かんだ連雀いつでもサポートサービス 平成27年12月事業評価結果報告(詳細は別紙④参照)		

詳細

③ ご出席者皆様よりご意見・講評

●千代田区高齢介護課介護事業指定係：●●様

○自己評価表、25項目というがこの項目内容の根拠はどこにあるのか。

(→グッドライフ ●●) 厚生省から出している福祉サービス第三者評価から重複した内容を削減し、25項目とした。

●高齢者あんしんセンター麹町 ●●様

○ここに評価表があれば連携推進会議のメンバーが採点をしていけるのでその方がよかった。自己評価は採点者の感覚で変わってしまうので客観的に受け止められない。

●高齢者あんしんセンター神田 高橋様

○今この場で評価を初めて見たので事前に周知されていた方がよかった。自己評価点は抜けがあるところもあるので、かんだ連雀の評価表はすべての項目に記載されるよう希望する。

●高橋様在宅療養支援診療所 ●●様

○自己評価は難しい。それぞれの項目に対し、評価がどうなっているのか二事業所の捉え方の違いが目に見える形で出るので興味深い。

●●●介護支援専門員

○「夜間の訪問については、人員確保が難しいため、最適な配置にならない」とあるが具体的にはどういった問題があるのか？

(→グッドライフ ●●) 利用者との特性をあわせた、援助者のマッチングを考慮した人員確保が難しい。特に夜間帯は人員も限られており適切な配置を行うことが困難。

(→かんだ連雀 浅見) 人員に関しては、排泄介助、入浴などは特にご本人・ご家族から同性介助を希望される場合もある。新規利用者を一人増やすごとに人員をその都度一人増やすとなると、イタチごっこになってしまい現実的ではないので適切なマッチングを行なえない場合もある。今後も続いていく大きな課題と考えている。

●九段訪問看護ステーション（連携） ●●様

○情報共有について。「介護職と看護職間で相互の理解・認識の共有は十分できている」と自己評価されているが、看護の側からは外部との連携がどういう風になされているか認識できていない。

ケアマネを通しての連携か、介護・看護の直接的な共有なのか、客観的な視点の違いを感じる。

(→グッドライフ ●●) 今回の第三者評価としては、共通の理解を得る視点に欠けていた。

今後の課題としたい。

●松村介護支援専門員

○第三者評価とは、各メンバーがそれぞれ評価したものを意見交換して行くものと捉えていたが、今回は誰が評価したのか、管理者の評価なのか、経緯がわからない。

(→グッドライフ ●●) グッドライフは齊川(計画作成責任者)、浜崎(アセスメントナース)が

評価を作成。千代田区以外の区でも同様に評価を行っているのでその担当者とも相談した。

(→かんだ連雀 浅見) かんだ連雀は浅見(サービス提供責任者)と峯(計画作成責任者)で評価作成。
三年間の業績を基に算定した。

●千代田区社会福祉協議会 ●●●様

○専門用語を多用されると理解しづらいとの意見を聞いた。民生委員等、地域住民の代表の方も参加されている。専門職だけの集まりではないので、そういった点にも注意を払って欲しい。

●千代田区高齢介護課介護事業指定係：●●様

○自己評価は主観的な意見が入るので、客観的な評価項目の見直しも含めて、皆様に頂いたご意見を反映させ評価表を作り直してください。

(→かんだ連雀 浅見) 定期巡回の現況報告。かんだ連雀は2月末で10名。

(→グッドライフ ●●) グッドライフは入院2名、サービス提供は11名。2名の新規依頼あり。

④閉会の挨拶

●グッドライフケア24代表 ●●

地域包括ケアシステムの説明会があった。全国的な認知度はまだまだ。新聞等で報道されているので今後の発展を期待している。

●かんだ連雀いつでもサポートサービス 管理者 峯

今年度で3年目が終了しますが、定期巡回を利用すれば在宅生活を支えられる時代ではなくなり、医療との連携や地域包括ケアとの関わり、社会資源の活用等、総合的な目線をもつことが目指すべき方向だと考えます。そういった意味では今回の評価を含め、グッドライフ、かんだ連雀とも今後の取り組みに大きな違いはないと思われます。定期巡回は国の指針とする三本柱の一つとして、利用者本人が生活を楽しめるような役割を果たしていく所存です。

◎来年度(4月以降)の連携推進会議の予定

それぞれの事業所ごとに展開していく。

年度末の3月は合同で行う。第1回の開催は6月に個別に行う。

◎4月から管理者が変更になります。

グッドライフ管理者：●●、●●

かんだ連雀管理者：浅見

以上